

サインディスプレイ用インクジェット印刷機のエントリーモデルを発売 ～「Truepress Jet」シリーズのラインアップを拡充～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー(社長：藤澤 恭平)は、サインディスプレイ業界向けワイドフォーマットインクジェット印刷機の新機種「Truepress Jet1600UV-F」の販売を、2009年9月下旬から開始します。

近年、商業印刷業界では小ロット化への需要が拡大しており、必要なときに必要な部数だけを印刷するPOD(プリント・オン・デマンド)システムの導入が活発化しています。これに伴い、インクジェット技術によるデジタル印刷市場が急速に拡大し、多様な印刷メディアへの応用展開が期待されています。これらの動向を受け当社では、市場が拡大するワイドフォーマットインクジェット印刷業界に向けて、2007年にUV硬化インクジェット印刷機のハイエンドモデル「Truepress Jet2500UV」を発表。サインディスプレイ業界に本格参入しました。

今回発売する「Truepress Jet1600UV-F」は、ワイドフォーマットインクジェット印刷におけるエントリーモデルで、印刷後にインキを瞬時に硬化させるUV照射光源として、当社初*のUV-LEDを採用。UV-LEDは発熱量が極めて少ないため、熱の影響を受けやすい基材にも印刷が可能です。同時に、長寿命で消費電力も少ないため、環境にも優しい印刷機となっています。また、1,602mm×3,100mmという業界最大クラスのサイズの描画が可能なほか、多階調ヘッドの採用と最大1,200dpiの高解像度により、高い印刷品質を実現しています。さらに、印刷後の成型・曲げ加工が可能な柔軟性インキと、耐摩耗性や耐薬品性に優れた硬質性インキの2種類のUVインキを、基材に合わせてユーザー自身で切り替えられるなど、幅広い用途に柔軟に対応できます。

当社は、今回の「Truepress Jet1600UV-F」の発売により、ワイドフォーマットインクジェット市場におけるエントリーモデルからハイエンドモデルまでのフルラインアップ化を加速させます。そして、インクジェット関連製品のさらなる充実を図り、世界の印刷・製版業界におけるリーディングカンパニーとして、今後も業界の発展に貢献していきます。

※ 2009年9月現在

* 「Truepress Jet1600UV-F」は、9月11日から16日まで米国・シカゴで開催される印刷業界見本市「PRINT 09」で実機を展示し、デモンストレーションを行います。

<販売開始予定>

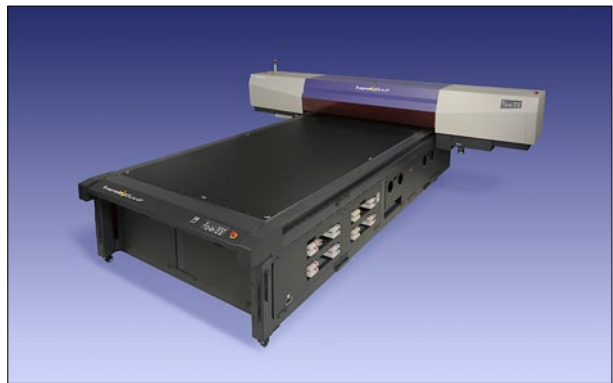
2009年9月下旬

<国内希望販売価格(消費税別)>

1,700万円(ブローア含まず)

<年間販売台数(初年度)>

50台



Truepress Jet1600UV-F

☆ この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)